

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 石光商事株式会社  
 コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画室管理部門長 (氏名) 久保 潤一  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 078-861-7791(代表)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	9,362	—	68	—	32	—	26	—
20年3月期第1四半期	8,978	5.4	36	—	58	—	38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3.36	—
20年3月期第1四半期	4.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	19,400	—	7,521	—	37.8	917.74	—	
20年3月期	18,750	—	7,264	—	37.7	884.14	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,332百万円 20年3月期 7,064百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,319	—	140	—	121	—	82	—	10.29
通期	38,022	3.7	544	—	504	—	299	—	37.51

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,000,000株 20年3月期 8,000,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 10,150株 20年3月期 10,150株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,989,850株 20年3月期第1四半期 7,989,850株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安や原油をはじめとした資源価格の高騰などにより、企業業績は減速し、景気の下振れリスクが高まってきました。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましては、原材料やエネルギー価格の高騰によるコストアップと需要減退による競争激化の狭間で厳しい展開を迫られています。また、新たな食品表示の偽装問題が発生し、食の安心安全がますます強く求められるようになりました。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、販促提案、品質管理等の全ての工程に関わり合って商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指しております。また、業績の回復を最重要課題として取り組んでまいりました。

その結果、売上高は9,362百万円（前年同期比4.3%増）と増加いたしました。損益面につきましては、営業利益は68百万円、経常利益は32百万円、四半期純利益は26百万円となりました。

なお、各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

コーヒー生豆の売上高につきましては、販売数量が減少したものの、プレミアムコーヒーが順調に推移いたしましたことと、相場上昇に伴う販売単価の上昇により、1,279百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

飲料製品および原料の売上高につきましては、インスタントコーヒーが減少したものの、量販店向けコーヒーバッグ、飲料メーカー向け紅茶原料および海外向けコーヒー飲料製品が増加いたしましたことにより、1,168百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

常温食品の売上高につきましては、国内メーカー商品が減少したものの、マッシュルーム等の輸入野菜缶詰やイタリアからの輸入パスタが増加いたしましたことにより、2,503百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

冷凍食品の売上高につきましては、中国冷凍餃子事件の影響による冷凍調理加工品や食品メーカー向けのタコ加工品が減少したものの、国内メーカー商品、外食店向けのエビ加工品や東南アジア向けの輸出が増加いたしましたことにより、2,413百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

食品原料の売上高につきましては、輸入の生鮮野菜が減少したものの、小豆加工品や国産の生鮮野菜が増加いたしましたことにより、1,809百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

その他の売上高につきましては、大口の機械・機器の輸出により、187百万円（前年同期比108.2%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債および純資産の状況

当第1四半期の財政状態は、総資産が19,400百万円となり、前連結会計年度末に比べ650百万円の増加となりました。これは主に現預金の増加によるものです。

負債合計は11,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

純資産は、為替相場が円安となったため、輸入決済用の為替予約の繰延ヘッジ損益が改善したことにより、前連結会計年度末に比べ257百万円増加の7,521百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金および現金同等物(以下、「資金」という。)は62百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益28百万円および未払金等の増加額194百万円に対し、売上高の増加に伴う売上債権の増加額150百万円およびたな卸資産の増加額51百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は30百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出10百万円および貸付金の収支による支出15百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は503百万円となりました。

これは、主に借入金の収支による収入583百万円と、配当金の支払額74百万円によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ524百万円増加し、2,011百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、現在のところ概ね計画通り推移しており、平成20年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、売上総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,494千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,104,010	1,579,740
受取手形及び売掛金	5,830,171	5,679,421
商品及び製品	4,253,167	4,195,441
未着商品	620,498	615,579
仕掛品	4,103	7,916
原材料及び貯蔵品	55,978	63,520
その他	291,587	398,519
貸倒引当金	△35,104	△3,492
流動資産合計	13,124,411	12,536,646
固定資産		
有形固定資産	2,715,147	2,710,499
無形固定資産	14,221	14,716
投資その他の資産		
投資有価証券	2,994,651	2,966,683
その他	601,458	568,351
貸倒引当金	△49,432	△46,711
投資その他の資産合計	3,546,678	3,488,323
固定資産合計	6,276,047	6,213,538
資産合計	19,400,458	18,750,185
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,205,849	3,156,722
短期借入金	1,770,000	936,800
1年内返済予定の長期借入金	996,308	1,027,004
未払法人税等	5,222	20,908
賞与引当金	63,187	107,969
その他	1,473,077	1,491,309
流動負債合計	7,513,644	6,740,714
固定負債		
長期借入金	3,603,803	3,823,025
退職給付引当金	43,749	43,633
その他	717,975	878,538
固定負債合計	4,365,527	4,745,196
負債合計	11,879,172	11,485,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,317,384	6,370,464
自己株式	△4,929	△4,929
株主資本合計	7,292,655	7,345,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,441	51,618
繰延ヘッジ損益	△9,484	△333,231
評価・換算差額等合計	39,956	△281,613
少数株主持分	188,674	200,152
純資産合計	7,521,286	7,264,274
負債純資産合計	19,400,458	18,750,185

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

売上高	9,362,695
売上原価	8,322,463
売上総利益	1,040,232
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	4,227
報酬及び給料手当	262,624
賞与引当金繰入額	54,363
その他	650,843
販売費及び一般管理費合計	972,059
営業利益	68,173
営業外収益	
受取利息	3,385
受取配当金	1,704
持分法による投資利益	22,953
その他	13,755
営業外収益合計	41,798
営業外費用	
支払利息	31,810
貸倒引当金繰入額	30,349
その他	15,585
営業外費用合計	77,745
経常利益	32,226
特別利益	
賞与引当金戻入額	5,653
特別利益合計	5,653
特別損失	
固定資産除却損	9,277
特別損失合計	9,277
税金等調整前四半期純利益	28,603
法人税、住民税及び事業税	2,338
法人税等調整額	5,264
法人税等合計	7,602
少数株主損失(△)	△5,818
四半期純利益	26,818

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	28,603
減価償却費	34,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	34,333
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,782
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	115
受取利息及び受取配当金	△5,090
支払利息	31,810
為替差損益 (△は益)	4,559
持分法による投資損益 (△は益)	△22,953
固定資産除却損	9,277
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,750
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51,289
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,126
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,948
その他の負債の増減額 (△は減少)	194,063
その他	633
小計	107,388
利息及び配当金の受取額	3,399
利息の支払額	△33,626
法人税等の支払額	△14,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2
有形固定資産の取得による支出	△10,661
無形固定資産の取得による支出	△280
投資有価証券の取得による支出	△891
貸付けによる支出	△58,599
貸付金の回収による収入	43,534
その他の支出	△4,546
その他の収入	1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,070,000
短期借入金の返済による支出	△236,800
長期借入れによる収入	25,000
長期借入金の返済による支出	△274,918
配当金の支払額	△74,465
少数株主への配当金の支払額	△5,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	503,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524,267
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,539

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは同一セグメントに属する食品等の製造、加工、販売を行っており、該当事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

2 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

3 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他

## 生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

## (1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

## (2) 商品仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	1,362,596	106.38
飲料製品および原料	749,580	107.37
常温食品	2,297,721	103.04
冷凍食品	2,027,039	91.23
食品原料	1,681,209	106.74
その他	160,970	168.77
合計	8,279,118	102.20

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

## (3) 販売実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	1,279,332	102.06
飲料製品および原料	1,168,740	101.45
常温食品	2,503,185	100.49
冷凍食品	2,413,951	103.31
食品原料	1,809,741	109.34
その他	187,743	208.19
合計	9,362,695	104.28

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



「参考」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売上高	8,978,202
II 売上原価	7,944,207
売上総利益	1,033,994
III 販売費及び一般管理費	997,389
営業利益	36,604
IV 営業外収益	56,315
1 受取利息	2,527
2 受取配当金	1,781
3 持分法による投資利益	22,009
4 為替差益	13,698
5 その他	16,298
V 営業外費用	34,477
1 支払利息	24,523
2 手形売却損	4,535
3 その他	5,418
経常利益	58,442
VI 特別利益	6,089
1 投資有価証券売却益	720
2 貸倒引当金戻入益	5,369
VII 特別損失	40
1 固定資産除却損	40
税金等調整前四半期純利益	64,491
税金費用	23,123
少数株主利益	3,102
四半期純利益	38,265